

荒尾干潟に住む貝たちパート2

荒尾市立緑ヶ丘小学校 6年 才崎 陽菜

1. 研究の目的

① 前回の研究で、私は荒尾干潟にはとくになすが住んでいるのか、荒尾漁協裏の干潟で貝殻を採集して調べた。そして「ハイガイ」という絶滅危惧種の貝が荒尾干潟に生息していることが分かった。採集した貝殻を調べていく中で、荒尾干潟水鳥 湿地センターを知り、そこで、スタッフの方にお目についていこうと教えていただいた。その時にスタッフの方から「ハイガイ」は荒尾干潟水鳥 湿地センターの干潟にはあまり見かけないという話を聞き、もしかしら同じ荒尾干潟でも場所によっては貝たりの住んでいる場所が違うのではないかと考えた。そこで、今回の研究では①前回の研究でまだ見つけていない貝殻を見つかる②「同じ荒尾干潟でも場所によって見つかる貝殻の種類も違うのか」の2点について調べてみた。

2 研究の方法

①荒尾干潟に行き貝殻を採集する。
〈採集場所と日時〉

	採集場所	採集日時	天気	満潮時刻	干潮時刻
前	1 荒尾漁協裏	R 1.8.8 13:00~13:30	晴れ	14:1, 14:32	8:12, 20:37
回	2 荒尾漁協裏	R 1.8.30 16:30~17:00	曇り	11:24, 23:39	5:22, 17:27
今	3 荒尾干潟水鳥 湿地センター裏	R 2.8.1 16:30~17:00	晴れ	6:51, 20:07	1:09, 13:23
回	4 荒尾漁協裏	R 2.8.8 14:50~15:10			
	5 荒尾干潟水鳥 湿地センター裏	R 2.8.8 15:15~15:45	晴れ	11:26, 23:48	5:31, 17:22



又、研究の結果、

前回の研究で採集した貝殻16種類と、今回新しく採集した貝殻15種類、合わせて31種類の貝殻を見つけた。
 <前回の研究で採集した貝たち> <今回の研究で採集した貝たち> (前回と今回のもつ除く)

- | | | |
|--|---|---|
| <p>① カキ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>河口付近の岩礁上に群生する。花の殻で地中に埋まる。</p> | <p>② アサリ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>淡水の池、池に近しい内湾の砂泥の干潟に生ずる。</p> | <p>③ オホシジミガイ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟に多く、潮干狩りのときに採れる。10月～2月。</p> |
| <p>④ カマガイ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海の浅所に生ずる。干潟で採れるものは、1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> | <p>⑤ ハナガイ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海のある所に生ずる。2枚の殻の間に挟まれる。</p> | <p>⑥ シロホナガイ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海に生ずる。1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> |
| <p>⑦ カナルボウ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海のある所に生ずる。干潟で採れるものは、1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> | <p>⑧ アマナレボウ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海のある所に生ずる。干潟で採れるものは、1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> | <p>⑨ ハナガイ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海に生ずる。1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> |
| <p>⑩ メダカガイ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>干潟～浅海に生ずる。1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> | <p>⑪ ズバリ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海に生ずる。1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> | <p>⑫ パイ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海に生ずる。1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> |
| <p>⑬ ナガニシ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海に生ずる。1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> | <p>⑭ アラムシロガイ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海に生ずる。1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> | <p>⑮ イボウミナシ
 
 採集地 鹿児島県 薩摩
 水深 浅海</p> <p>内湾の干潟～浅海に生ずる。1つ1つが大きい。1つに2枚の殻がある。1つは2枚の殻の間に挟まれる。</p> |

- ⑤ ハシロウミナシ
 葉裏に灰白色の
 鱗片状の毛を被る。
 ウミナシ類では最も色が
 鮮しい。花びらがいた字の葉
 の上をはい回っている。
- 

4 万 里

① 前回、そして今回の研究で見つかった貝殻を採集場所ごとに並べるとやはり貝によって住んでいる場所が違うということが分かった。

荒尾・湯島裏に住む鳥	西方に住む鳥	荒尾千瀬水鳥 湯島神社 裏に住む鳥
クマドリボウ	ハイイ	オトリズミカイ ハマダリ アサリ
ハイイグサ	ナミダマシ	カガミガサ アササカシ
フトハナダイ	ヒノキグサ	サルボウカイ スコシ カシ
		ボソウシナ イボウシナ
		アラムシロイ リンナグイ
		スガイ
		マタギイ サカボウシマタ
		イモトウシマヒイ コラダウ
		シロコシ コナラツグイ
		テリダツグ アサツグイ
		カササシロイ ウズニナ
		ハナタリ テンブシ

[illegible]

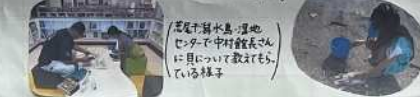
今回の研究を通して、私は「ハイガイ」だけでなく、多くの貝たちが絶
 有明海で絶滅した貝だ。今回の令和2年7月豪雨でも大
 した。もういしたら、また絶滅や危惧種の貝たちが増えてしまうか
 が起り、私たちの出た湧水や高井川に流した荒れた湯に生
 きたことを忘れて、これからは高井川で遊ぼうとしない子ども

② 採集した貝殻を洗って、ハイターを薄めた水で消毒し、天日干しして乾かす。

③ 図鑑やハンドブックを使って貝の種類を調べる。
〈参考文献〉

荒尾干潟生き物ハンドブック(荒尾干潟保全・啓明
利活用協議会)
日本近海産品類図鑑(奥谷喬司 東海大学出版部)
干潟生物調査ハンドブック(日本国際湿地保全連合)

④ アラスチックケースに線を詰め、目の標本を作る。
並べた貝殻の横に名前と採集日、採集場所を記入した紙を付ける。
紙は、荒尾漁協裏で見つけた貝殻は青、荒尾干潟水鳥・湿地センター裏で見つけた貝殻は緑、両方で見つけた貝殻はピンクに色分けした。



＜今回の研究で採集した貝たち＞（前回と同じものは除く）

- [illegible]

今回見つけた海に住んでいない貝
 ◎マタリノコガイ(通称 ジェンボタマシ)

採集日: R2.8.8 採集場所: 荒尾干潟水鳥・湿地センター裏
殻高5cmになる淡水に住む巻貝。南米原産で1980年代前半に
食用のため、日本に持ち込まれた外来種。

② 今回の研究では本来、海に住んでいたはずのスクリミングガカイの
目般をいくつも発見した。

今ほど海に生息するのはスクリンガイの目撃見つけたの？
 今日の研究をする中、実は前回の研究の時に海の水質が少し違っ
 ていることに気づいて、前回調査で、元来はスクリンガイが少いとい
 った個体ばかりだったから、今回は今年は大量に発生した。特に3月か
 目撃も今年より大々とうちあがっている。
 その原因は今年7月に起った。今和2年7月春潮
 だった。私の住んでいる荒浜では今年3月7日
 に今まで経験したことのない、よほど大雨に見舞
 われた。家の近くの川や池にスクリンガイが溢れ出し
 ぐわぐわの水が被害を受けた。その際に田んぼや
 川に生きているスクリンガイが大量の水
 とともに有明海に流れ、死者も湧い上げられたのだと考えら
 れた。調査では海へ流れ出した真水が荒浜干潟の海水の塩分濃
 度を急激に下げた上に、流れ出した大量のゴミが海水を悪
 化させ、干潟の土に付着したためにさらに汚染された。荒浜干潟
 水質調査センターの村瀬さんによると、干潟の底にたまったゴミが、セ
 ンサーの干潟に流れ込むと詰まってしまう。私がセンターで干潟には
 害はないと聞いて、1年以上かかっている。また、有明海の水質が元
 来にもよくなっていた。今和2年7月春潮はそれらが生じたので、荒浜
 干潟に住むくさの生物も大々被害を受けた。

を機にあるということを知った。今回見つけたアゲマキカガイも一度のごみや真水が有明海に流れ込み、たくさんの貝や魚を殺して、水は、私たちが出した排気ガスが地球を汚し、温暖化や着雨によるたくさんの貝たちを死ねさせてしまっている。私は今回の研究で、さらに、私たちにできることを考えていきたい。